

自己評価

1. 園の教育目標

本園が最も大切にしているのは、キリスト教の精神に基づいた心の教育、即ち 真 善 美 を尊び愛するという事です。幼児期が生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であることを認識の上に、子供の心に内面的な暖かさ、正しさ、美しさを植えつける教育に力をつくしたいと考えています。

幼児が現代の社会生活に適応し、幸せに生きる能力の基礎を身につけるに留まらず、将来隣人と共に生きる国際社会の形式に寄与する人間としての姿勢をも身につけ、環境を通して教育することに努めます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
安全	門の設置：園舎の正門から不審者侵入を防ぐため、門を新しく設置する予定でしたが、補助金の申請は却下されました。来年度に実施を目指し、一応防犯カメラだけ設置しました。
	安全マット：屋外遊具の下に敷いていた安全マットはクッション性が薄くなったので、新しく購入し、敷きなおしました。
設備	裏のグラウンドをより活用するため、遊具一つ（ジャングルジム）を移動し、砂場を設置して、ボール遊び用のボールを新しく購入し、サッカー教室のゴールを借りて遊び方を増やしました。
研修	コロナ過に中止になっていたカトリック研修会は徐々に再開に向かっていましたが、対面の研修会は一回のみになりました。オンライン研修を通して、カトリックの教育理念を深めることはできましたが、来年度こそカトリック系の対面研修会への参加を図る必要があります。
行事など	コロナ感染状況改善を踏まえて、行事などへの保護者参加は回数も人数も増やしました。様々な感染防止対策をとりながらも、参観日の実施、運動会の全学年、年長のクリスマス聖劇、お遊戯会の実施などができました。
音楽指導	コロナ感染防止対策の一つはピアノ使用を控えていましたが、口から空気を吹き込まなくてもいい電子ピアノを購入し、音楽指導ができました。 電子ピアノのサイズが大きいため、出したり片づけたりすることは手間がかかります。来年度、解決案を考えなければなりません。

3. 園関係者の評価

安全面、確認しました。遊具の移設も参観時に確認しております。行事参加も1名から2名に増え、実施されました。電子ピアノの設置も確認しております。以上をもって、上記において間違いのないことを確認しました。